

## 第3章 マウスでデータを作ったらプロの基板屋にお任せ！ 眠れない…待ちきれない…

# 基板データの作成と発注

志田 晟  
Akira Shida

其の三

1

2

3

App

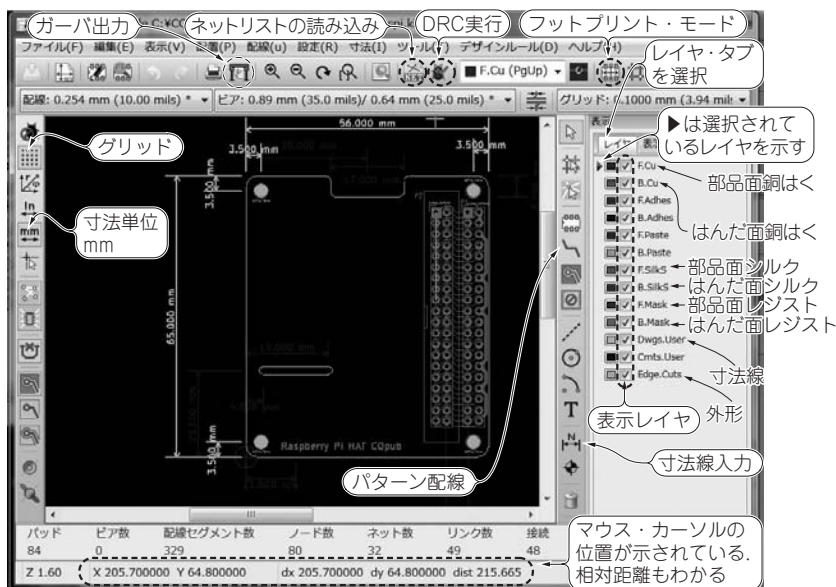


図29 基板パターン作成ツール Pcbnewの画面

テンプレートを使ったので、外形は最初から表示されている。寸法線を入力した状態

### STEP4：基板パターンを作る

回路図の場合と同じように操作手順に沿って説明します。

#### ■ 手順1：基板エディタPcbnewを起動する

KiCadの基板エディタはPcbnewという名前です。プロジェクト・ウィンドウ(図10)のツリー表示から基板データのファイルADboard\_raspi.kicad\_pcbをクリックするか、図10上部の大きいアイコンのPcbnewをクリックすると起動できます。

図29にPcbnew起動時の基板図を示します。今回はテンプレートを元にプロジェクトを作成したので、テンプレートの内容が表示されています。

#### ▶寸法単位はmmを選ぶ

画面左端に縦に並んでいるアイコンで上から4個目のmmと描かれたアイコンが選択されていることを確認します。その上のInが選ばれている場合は、寸法単位がインチになっています。mmのほうをクリックして選択すると、グリッド単位がmmになります。

#### ■ 手順2：基板外形の作成

最初に基板の外形から作成します。今回は基板外形が含まれたテンプレートを使うので、外形の作図は不要です。既存プロジェクトの基板をコピーして使うこともあります。

#### ● 外形を編集対象にする

Pcbnewの画面の右側にある[レイヤ]タブをクリックしてレイヤ(層)を選択します。

外形データがあるのはEdge.Cutsレイヤです。行頭のスペースをクリックして、編集するレイヤを選択します。選択したレイヤの行頭に▶マークが付きます。

Pcbnewの画面の上に[レイヤ]タブが表示されていない場合は、上部のメニューから[設定] - [レイヤマネージャを表示]と選べば表示されます。

#### ● 表示レイヤの選択

レイヤ名の左にある□にチェックがあるレイヤが重なって表示されます。部品面のパターンを作るときはそのレイヤだけ表示するなど、必要に応じて選択します。